

太陽キャスト株式会社

〔業種〕 非鉄金属製造業

事業
計画名

小ロットに対応した
Mgダイカスト金型製作工程改善

◇代表者名 代表取締役 篠川 秀樹
◇設立年月日 平成22年5月6日
◇所在地 〒923-0073
石川県小松市岩淵町チ98番地
◇TEL: 0761-47-0088
◇FAX: 0761-47-0098
◇URL: <http://taiyocast.co.jp/>
◇E-mail: info@taiyocast.co.jp
◇従業員数 67人
◇資本金額 10,000千円



ADC12

事業に取り組んだ経緯・背景

当社はダイカスト製造における一貫生産体制（金型製作、鋳造、仕上げ、機械加工）を有しており、従業員60名程度の会社ながら全ての設備を保有し、社内で完結できる企業は少なく、そこが当社の強みといえる。

近年では競合他社も受注獲得のため、生産性の悪い少量品のエリアへ進出してきており、当社ではそういった競合他社との差別化を図るため、4年前よりアルミニウム材料以外の「異種材」の取り扱いを推進している。その中でも当社はマグネシウムに着目し、拡販を進めてきた。マグネシウムは軽くて丈夫な金属として使用されてきた。主に、パソコン、カメラ、携帯電話の外装ケースとしてニーズが高い。昨今、当社顧客からもマグネシウムでの製品化を望む声が高まっている。

しかし、マグネシウムの製品化には金型価格が高



導入したマシニングセンタ

いため、二の足を踏む顧客が多い。要因として、日本国内での普及率の低さにより、取り扱う企業が少なかったことが上げられる。マグネシウム用ダイカスト金型は樹脂成型金型の3倍程度高く、マグネシウムの製品化を進めるためには低コストのマグネシウム用ダイカスト金型が必要であると確信した。

事業内容

本補助事業では、当社の金型費が高い要因の多数を占めている老朽化した昭和63年製のマシニングを立形マシニングセンタに更新にて、工数削減、加工精度の向上、属人化した工程の改善＝原価低減を図った。

事業の成果

加工実績を従来の放電加工類似品実績と比較した。

加工プログラムの作成時間、段取り時間は同じだが、放電レスにより、電極材料が不要のため6,900円のコストダウン。また、従来加工で29時間かかっていたのに対し、高速加工では22時間30分で加工を行うことができ、30%の生産性向上となった。

次工程のミガキ工程においても、従来加工では加工不安定により15時間かかっていたが、高速加工ではムラ無しであり12時間で加工を行うことができ、20%の生産性向上となった。

従来、マグネシウム用ダイカスト金型は、短納期で引き合いが来ていなかった。本補助事業により、生産性向上による生産リードタイムの削減ができ、マグネシウム用ダイカスト金型の引き合いも来るようになった。

事業の現在の状況

本補助事業では、マグネシウム用ダイカスト金型の製作工程改善を実現した。マグネシウムは軽量化・強度が求められる市場にニーズがあり、当社ではロボット業界・医療業界への拡販を推進し、受注を獲得している。



本社外観

【得意分野】

ダイカスト製品の金型、鋳造、仕上げ、加工の一貫生産

【主要取引先】

太陽パーツ(株)、(株)スズキ部品富山、三和金属工芸(株)、三協ワシメタル(株)

【商品】

ダイカスト金型、産業機器部品、医療機器部品、映像機器部品、分析機器部品

【代表者から一言】

ダイカストの業界は、ADC12（アルミニウム合金）で成り立っています。そのほとんどが自動車産業向けのため、電気自動車等の普及に伴い厳しい局面を迎え、小ロット化が進むと思います。その中で、異材の小ロット対応についても取り組み、お客様に喜んでもらえる企業を目指します。



代表取締役 篠川 秀樹